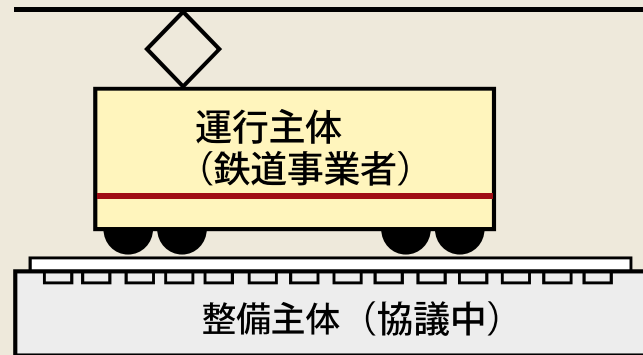
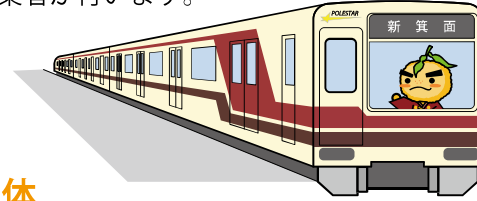


## 誰が運行するの？誰が整備するの？



### ● 運行主体

鉄道事業者が行います。



### ● 整備主体

当初の事業の枠組み（地下鉄補助）では、地方（府、市）が 50%以上出資する第三セクターが整備することを想定していましたが、現在、国との協議で、地下鉄補助より事業性が向上する社会資本整備総合交付金の活用が可能となったことから、整備主体についても協議を進めています。

## どれだけの人が利用するの？

整備計画案の需要予測は、乗降客数 5 万 1 千人／日（利用者数 2 万 5500 人）と算出しています。

さらに、需要予測の精度を上げるため、市民アンケート調査の結果に基づき、市民の交通行動等を反映したより確かな乗降客数を予測します。

なお、事業化に向け、2～3 割少ない乗降客数 3 万 5 千人～4 万人／日（利用者数 1 万 7500 人～2 万人）でも採算性が確保できる事業の枠組みについて、国や関係者（大阪府、阪急電鉄㈱、北大阪急行電鉄㈱）と協議しています。

**需要予測 5 万 1 千人／日 ⇒ 市民アンケート調査等により精査**



## 市はどれくらい負担するの？

建設事業費 420 億円（縮減に向け精査中）の内、現在国と協議している事業の枠組みでは、3～4 割程度が地方公共団体（大阪府・箕面市）の負担になります。

仮に府・市の折半とすれば、箕面市の負担額は約 70～80 億円。ここから鉄道延伸のために積み立ててきた基金（箕面市交通施設整備基金）を差し引くと、残るは約 40～50 億円となり、平成 23 年 4 月に開校する彩都の市立小中一貫校の費用と同規模です。

決して小さい額ではありませんが、100 年の時を越えるその長期的な効果を考えれば、箕面市の財政支出規模としても現実的に手の届く範囲であります。

延伸の実現に向けた関係者との合意形成を図るうえでも、市民の皆様の延伸実現への熱い思いが支えになります。

賛助会員への加入や寄付金として応援していただくなど、どうぞよろしくお願いします。

くわしくは、箕面市地域創造部北大阪鉄道延伸課または下記アドレスまで。

<http://www.city.minoh.lg.jp/shisei/kouhou/kifukin/index.html>



**「鉄道延伸を  
応援してください!!」**

# 北大阪急行線延伸の実現にむけて

平成 30 年度の開通をめざして、国と精力的に協議を進めるとともに、関係者との合意形成に向けた調整を図るなど、事業化に向けた取組みを加速しています。



## 安心して快適な暮らしを支える鉄道延伸

北大阪急行線延伸は、箕面市の骨格を形成する都市基盤のなかで、最後に残された課題といえます。延伸しようとしている北大阪急行線は、大阪都心部を縦断する大動脈「地下鉄御堂筋線」と直結し、新大阪、梅田、本町、難波、天王寺にダイレクトにアクセスするもので、延伸により本市の住宅都市としての魅力はますます向上することになります。

また、北大阪急行線が延伸されると、新駅を中心とした市内バス路線網が大幅に充実し、だれもが安心して移動できるようになるだけでなく、人口の増加や生活施設の充実、新たな雇用の創出、商業の活性化、市民活動の促進など、まちが元気になります。50 年後、100 年後において、持続可能なまちを創っていくためにも、安心して快適な暮らしを支える都市基盤の根幹である北大阪急行線の延伸は必要不可欠です。

## 鉄道延伸の取り組み経過

|             |                                                                                                                               |
|-------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 昭和 60 年度    | ● 第三次箕面市総合計画に位置づけ<br>・まちづくりの中核となる都市基盤施設として北大阪急行線の延伸を図る                                                                        |
| 平成 7 年度～    | ● 地下鉄御堂筋線の新大阪駅、梅田駅、なんば駅と直結している北大阪急行線を千里中央駅から北に位置する船場地区、かやの中央地区まで延伸するため、かやの中央（箕面新都心）の整備を行い、延伸に向けた基盤整備を進める                      |
| 平成 20 年度    | ● 大阪府、箕面市、阪急電鉄㈱、北大阪急行電鉄㈱の 4 者で、事業化に向け協力して、国などの関係機関との協議調整を進める覚書を締結                                                             |
| 平成 20～21 年度 | ● 北大阪急行線延伸検討委員会（学識経験者、国、大阪府、箕面市、阪急電鉄㈱、北大阪急行電鉄㈱、その他関係鉄道事業者）を組織し、運行計画、路線計画、需要予測、事業制度について詳細検討を実施<br>● 平成 21 年 11 月に整備計画（案）をとりまとめ |
| 平成 22 年度    | ● 整備計画（案）をもとに、大阪府、箕面市、阪急電鉄㈱及び北大阪急行電鉄㈱で関係者会議を設置して、事業化に向けた合意形成に向けての詳細協議を実施中<br>● 基金の積立額：約 29 億円（平成 23 年 3 月現在）                  |